

わくわく
サイエンス

かわら
川原の石が丸くなる様子
【5年 流れる水と土地】

川原の石の形

川原で見られる石は、川の上流と下流でちがっています。川の上流では大きくて角ばった石が多く見られ、川の下流では小さくて丸い石が多く見られます。流れる水のはたらきで、川の上流の石が下流へと運ばれる間に、ぶつかって角が取れたりわれたりして、小さく丸くなっていきます。石がわれたときに出る小さな破へんは、すなやどろになって下流の川底などにたい積します。



準備 園芸用スポンジ、**ようき** カッターナイフ、ふたつきの容器（ジャムのびんなど）、わりばし、画用紙

調べ方

① カッターナイフを使って、園芸用スポンジを2cm角くらいの大きさに切る。

② ①で切った園芸用スポンジ6～7個を、水を入れたふたつきの容器の中に入れて、スポンジが水にしずむまで置いておく。

③ 容器の中のスポンジ（ふる前）を1つ取り出し、ふたをして容器を100回ふる。

④ 容器の中のスポンジ（100回）を1つ取り出し、ふたをして再び容器を100回ふる。同じようにして、スポンジ（200回）とスポンジ（300回）を取り出す。

⑤ ふる前のスポンジと、100回、200回、300回ふったあとのスポンジの形を比べる。

● スポンジを石に見立てると、どのようなことがいえそうかな。

